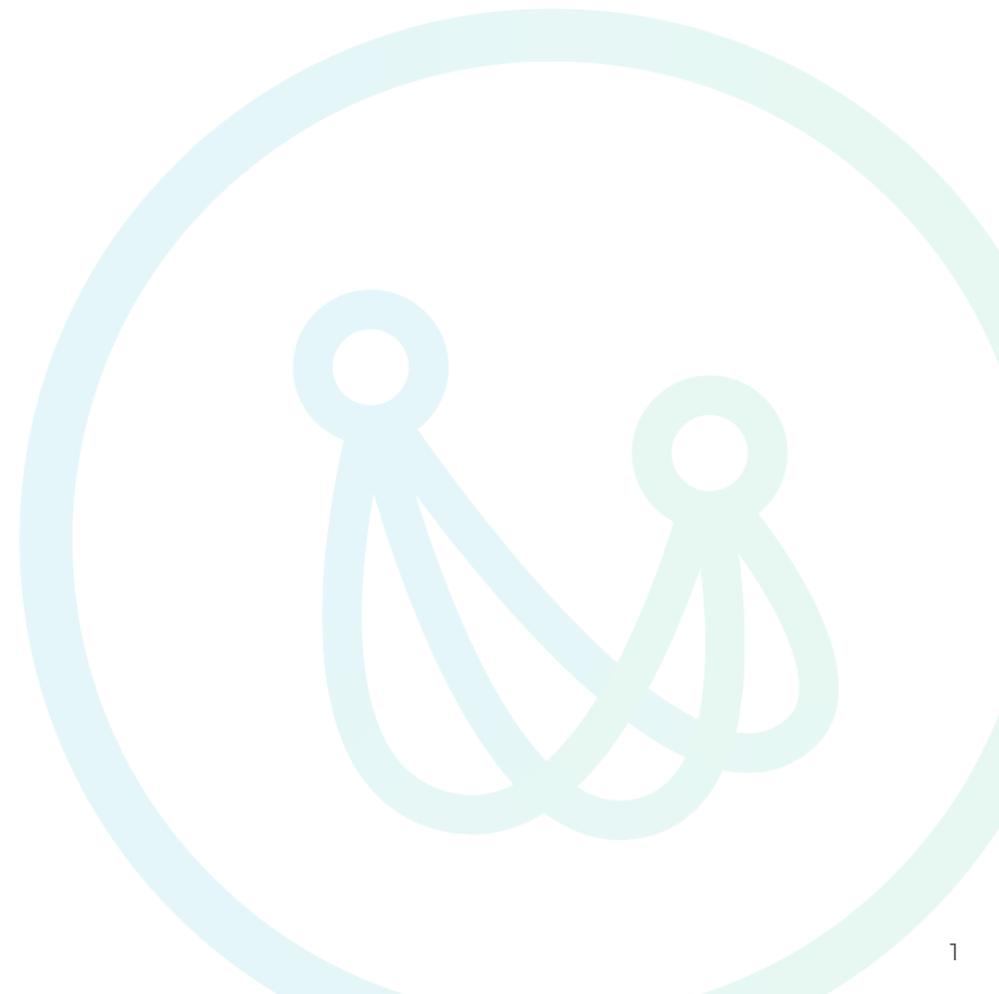


2025年3月期 第1四半期決算説明資料

Unipos株式会社 証券コード：6550

2024年8月9日



Contents

- 01** ビジネスモデルと事業内容
- 02** 当社が取り組む市場環境とポジショニング
- 03** 2025年3月期 第1四半期 決算概要

2025年3月期 第1四半期業績ハイライト

売上高は前年同期比で33百万円増加となりました。通期予算計画に対する1Q進捗率の計画22.9%に対し23.2%と上振れて着地。コストについては利益体質の改善により対前年同期比より圧縮して着地。通期事業計画の達成並びに第4四半期の営業利益黒字化に向けて順調に推移。

Unipos売上高^{*1}

245百万円

前年同期：212百万円

ストック売上高比率^{*1}

90.7%

前年同期：93.6%

通期進捗率^{*1}

23.2%

計画通期進捗率：22.9%

*1：2025年3月期第1四半期累計会計期間

◆コストダウン効果

人件費

対前年同期でマイナス39百万円で着地。

成長投資

対前年同期でマイナス17百万円で着地。

「最高の集団を自らつくる」時代をつくる

企業の果たすべき役割は、変化し続けています。
事業成長だけでなく、社会的課題の解決も求められています。
はたらき手が減少する中で、この両立をどの様に実現するか。

それは **本来人間が持つ個々人の素晴らしい可能性を見出し、
主体的に集団に影響を与えること** で実現すると我々は信じています。

個人がその組織に所属する意義は、企業の存在意義（パーパス）の実現にほかなりません。

個人の可能性を発見し、自ら変化を起こすことで、
最高の集団が存在意義（パーパス）を一丸となって実現する組織集団を次々と生み出すこと。

これこそが企業の持続的な成長にもつながり、
さらに **次の素晴らしい時代をつくること** ができる と信じています。

Uniposと共に、「最高の集団を自らつくる」時代をつくりましょう。

はじまりは 段ボールから

社内に閉塞感が漂い離職が進む中、
「お互いの頑張りを知り、興味を持ってほしい」という自社の課題からUniposは始まりました。



ビジネスモデルと事業内容

Uniposのプロダクト

組織の中のよい行動を「見つける、称える、共有する。」「振り返る。」これらを習慣化。
「Unipos」は、全社参加型カルチャープラットフォームです。

全社の良い行動を
リアルタイムに

見つける、
称える、
共有する。



溜まった過去の
行動データを
全社・組織・個人で
振り返る。

当社のビジネスモデル

- Uniposは人的資本経営の土台となる「カルチャー（組織内の当たり前前行動 / 判断基準）変革」の実現を支援する企業です。
- 提供サービスとして、どのような組織を目指すべきかの方針策定支援と、その目指すべき方針に基づいた社内の理想的な行動を見つけ・称え・共有する事を定着化するプロダクトと活用支援を提供しています。

Uniposを通じたカルチャー変革

プロダクトレベニュー

(システム利用料としての収益)

全社参加型カルチャープラットフォーム



サービスレベニュー (システム利用料以外としての収益)

プロダクトの活用支援

- ◆ コミュニティ / ウェブセミナー
- ◆ 利用促進支援
- ◆ 推奨行動ワークショップ

人的資本強化への経営向けコンサルティング

※利用企業・未利用企業問わず提供

- ◆ 人的資本経営コンサルティング
- ◆ 人的資本経営ワークショップ
- ◆ 人的資本開示アウトプット支援

サブスクリプション契約

プロダクトの提供

付帯価値サービス役務提供

サービス契約

顧客企業

事業KPI：新規獲得と継続利用分を合わせたストック売上高（＝利用中アカウント数×アカウント単価）

Uniposの考える人的資本経営と、カルチャー変革投資の必要性

人的資本とは従業員個人が所有するものであり、人的資本経営とは「個人の持つ人的資本を十分に発揮するための土台を再構築し、組織的人的資本を創出する経営」と定義しています。主体的な個人の行動および組織的人的資本を創出するためには、健全なカルチャー・集団への投資が必要です。



カルチャー変革とは

全社レベルで「当たり前前の行動基準」を一步上の段階に引き上げ、更なるパフォーマンスを発揮できる状態をつくり、従業員の皆さまの行動を変えることがカルチャー変革です。



カルチャー変革を成功させる方法

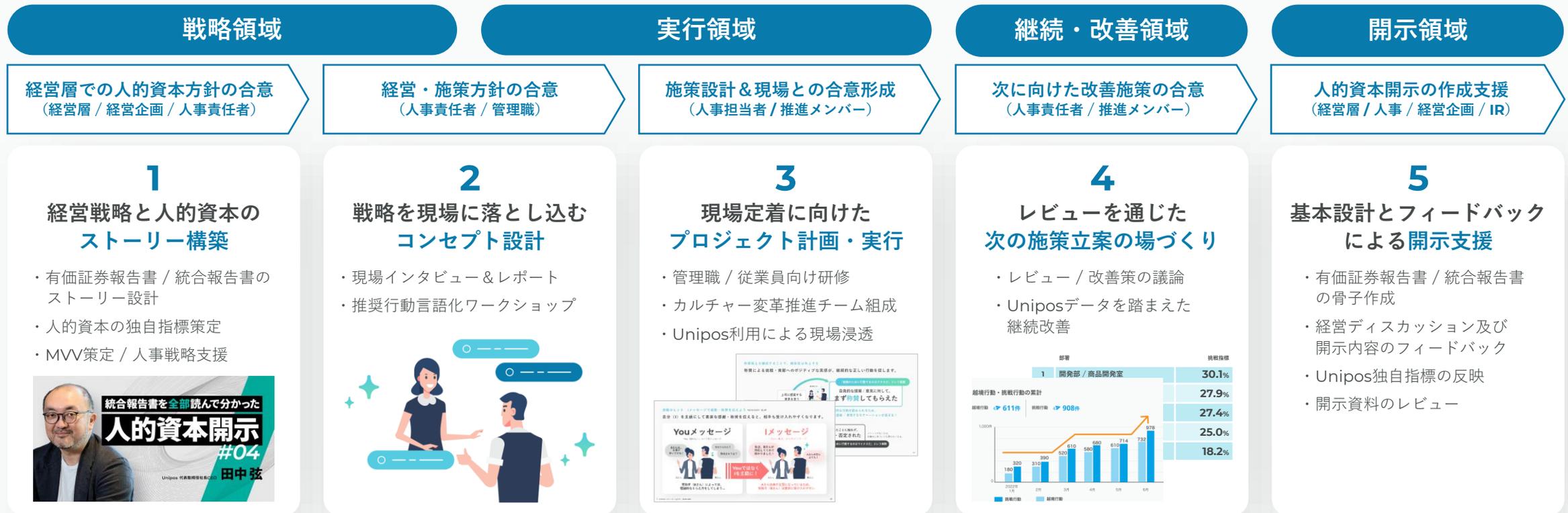
良い行動を見つけ、称え、共有する
サイクルを回すことが重要。



人的資本経営の実践・カルチャー変革を実現するUniposが提供するサービスラインナップ

Uniposが提供するサービスラインナップとしては、経営戦略と人的資本のストーリー構築から、実行・改善・開示までの支援サービスがあります。

1~4の領域はUniposサービスにあたり、1および5の領域は人的資本経営コンサルティングにあたります。人的資本経営コンサルティングはUniposの利用有無に関わらず提供しており、実行・改善領域を担うUniposサービスの利用や定着に寄与しております。



Product

全社参加型カルチャープラットフォーム「Unipos」
良い行動が全社レベルで 広がる / わかる / 浸透できる

1 全社の良い行動が見つかり、広がる



この前の仕事よかったよ。
素晴らしい挑戦だった！



土屋 圭太



伊藤 友宏 さんへ
+100pt

経費精算のシステム化を進めてくれて
ありがとうございました。

申請がすごく楽になってとても助かっています！

4月23日 15:40



2 リアルな全社状況が 行動データでわかる



3 他施策への活用で さらに全社事化が進む



前向きに挑戦する

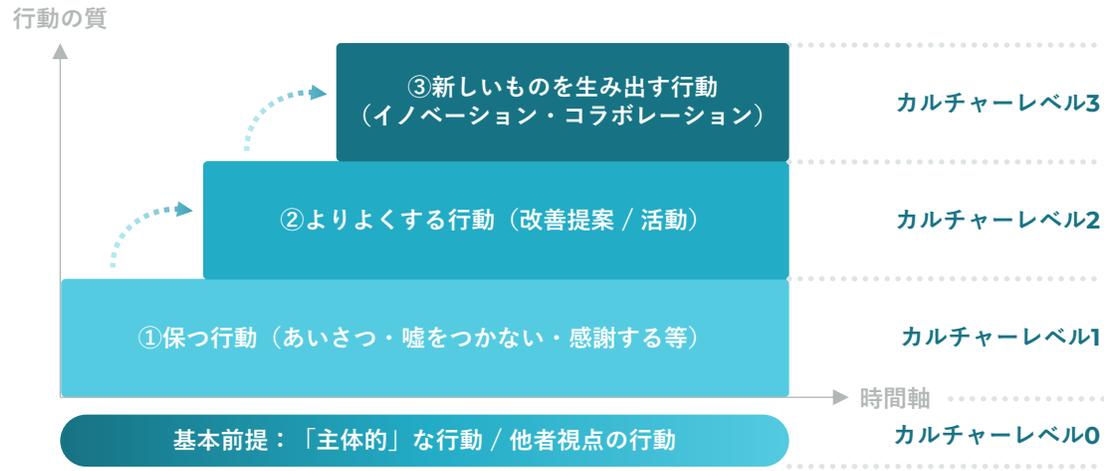


Method

数百社への支援から導いた「カルチャー変革メソッド」
顧客内で良い行動の認識を揃えるためのフレームワーク

カルチャーレベル

現在のカルチャー状態を把握し、
どの段階へ引き上げる事を目指すか



カルチャー変革プロセス

変革を阻害する落とし穴を回避すべく、
何をどのように実行するか

カルチャー変革プロセス	落とし穴	各種メソッド
Step 1 現場の現実を直視し 危機感を高める	危機感の認識に役職や役割で 差が生まれる	カルチャーレベル
Step 2 変革推進チームを作る	現場を巻き込むチームになっていない	「課題」を開示する 人的資本経営フレームワーク
Step 3 適切なビジョンを作る	経営戦略や事業成果の一貫性など ストーリーとして成立していない	推奨行動フレームワーク
Step 4 変革ビジョンを周知する	抽象的 / 手触り感がない言葉が羅列され、 経営と人事がやっている何かという知覚になる / 日常業務との乖離の発生	行動表彰
Step 5 従業員の自発的な 行動を促す	小さな行動の変化を見逃しがちで 成果を定量結果にこだわってしまう	
Step 6 短期的な成果を生む	振り返り・改善が回されず やりっぱなしになる	
Step 7 さらに変革を進める	組織の変化に合わせて 目的の再解釈がされず形骸化してしまう	
Step 8 変革を根付かせる		

方向性の決定

変革の実行

変革の常態化

当社が取り組む市場環境と ポジショニング

人的資本開示義務化を受けて注目を集める人的資本投資

社会要請としての人的資本

▼2022年8月

人的資本コンソーシアム設立。

▼2023年1月

2023年3月期有価証券報告書より

人的資本戦略の目標や実績の開示が義務化。



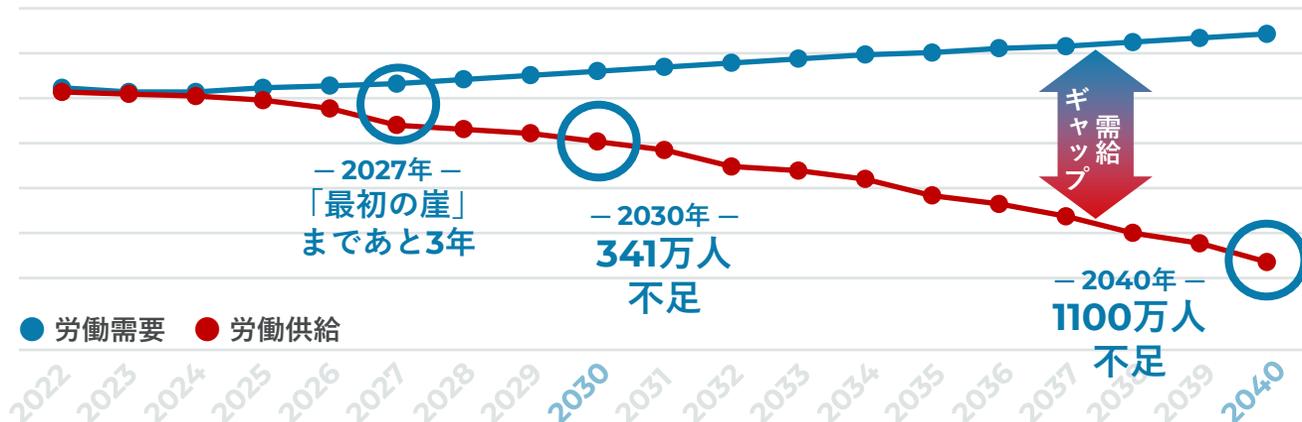
**Human
Capital
Management**
人的資本経営コンソーシアム

社会問題としての人的資本

日本は今後、労働需給ギャップが大きく拡大し、労働者不足が深刻化する。さらに、日本企業は世界的にもエンゲージメントスコアが低く※1、従業員数の多いエンタープライズ企業ほど採用や定着に抜本的なカルチャー改革が必要。

労働需給ギャップとその解決策の概念図

*出所：リクルートワークス研究所『未来予測2040』より

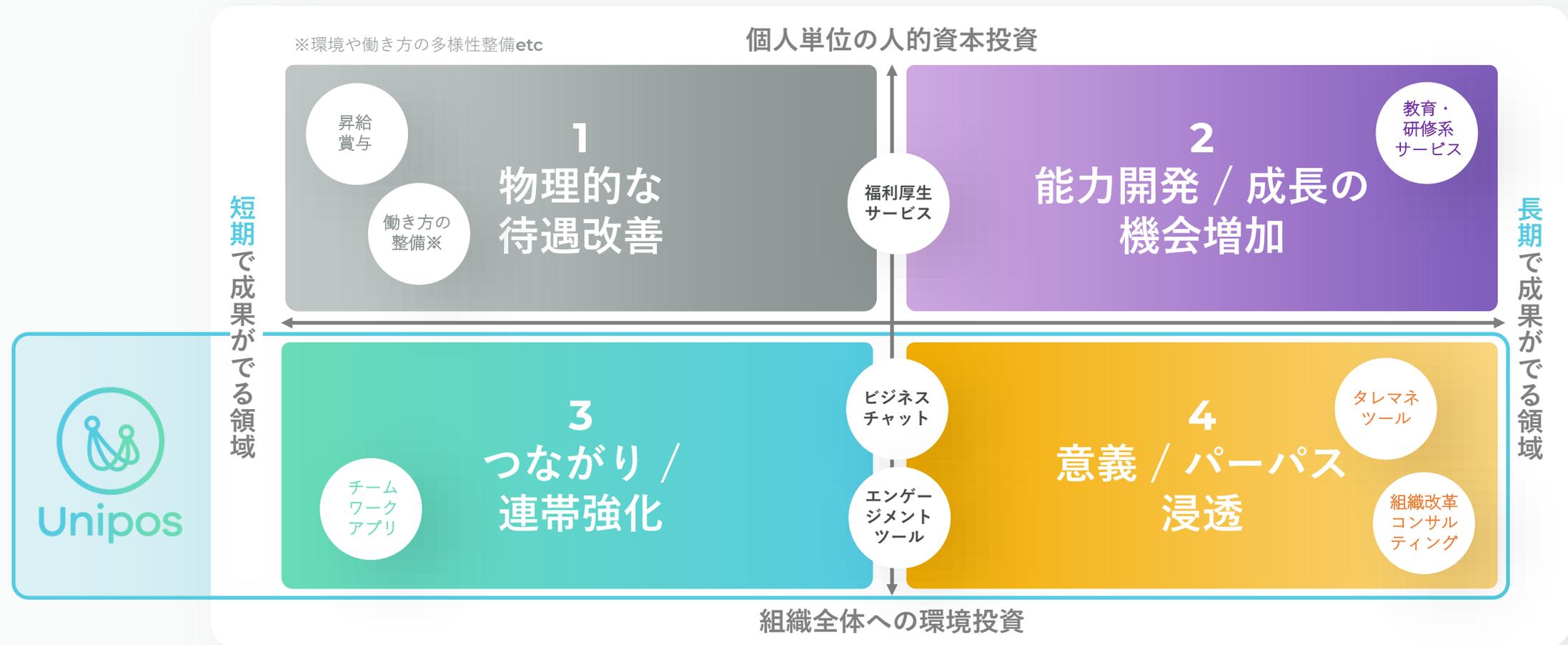


人的資本経営の強化が必須であり、
企業としての競争力や将来の企業価値評価にも直結する。

※1:State of the Global Workplace: 2023 Report出典

Uniposの人的資本投資領域におけるポジショニングは「組織全体への環境投資分野」

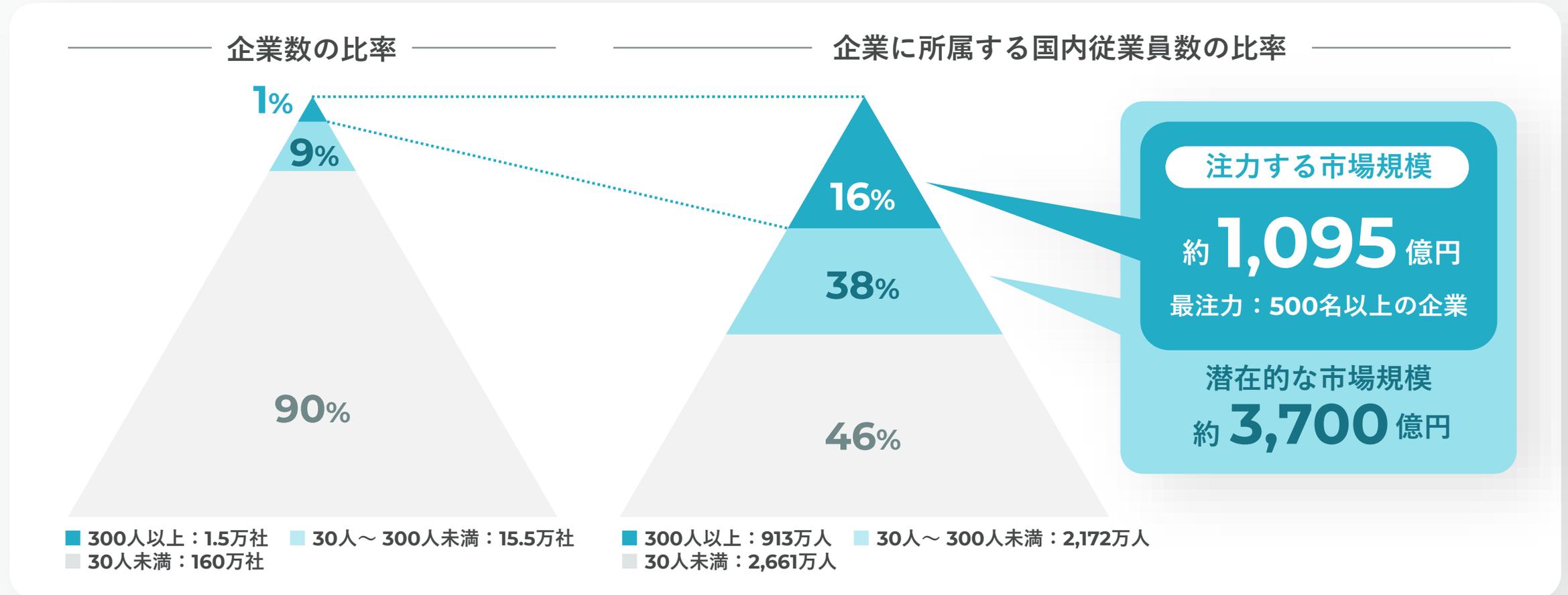
人的資本戦略の開示義務化を受け、大手企業を中心に「企業価値の向上や競争優位性の確立」に不可欠な人的資本投資の重要性が高まっています。Uniposは人的資本投資領域において、組織全体の環境へはたらきかけを通じて短期 / 長期でカルチャー変革を支援する独自のポジションと競合優位性を築いています。



※出典：「従業員価値提案を見直すべき時 人を惹き付け、離職を防ぐ」（ダイヤモンド社）マーク・モーテンセン,エイミー・C.エドモンドソン「ハーバード・ビジネス・レビュー 2023年5月号」

潜在的な市場規模および当社が注力する顧客の市場規模

従業員規模300名以上の企業数は国内企業の1%であるにもかかわらず、労働に従事している従業員数では国内全従業員の16%を占めています。今後は30名以上の企業を対象顧客としつつ、その中でも受注単価の大きい500名以上のエンタープライズ企業に注力し経営資源を投下していきます。



※1 出所：総務省・経済産業省「令和3年経済センサス活動調査」の統計データから当社作成 ※2 市場規模については、国内の従業員30人以上の企業における全従業員がUniposを1年間利用した場合として算出

※エンタープライズ企業とは、従業員500名以上と定義しております。

2025年3月期 第1四半期 決算概要

2025年3月期 第1四半期業績サマリー

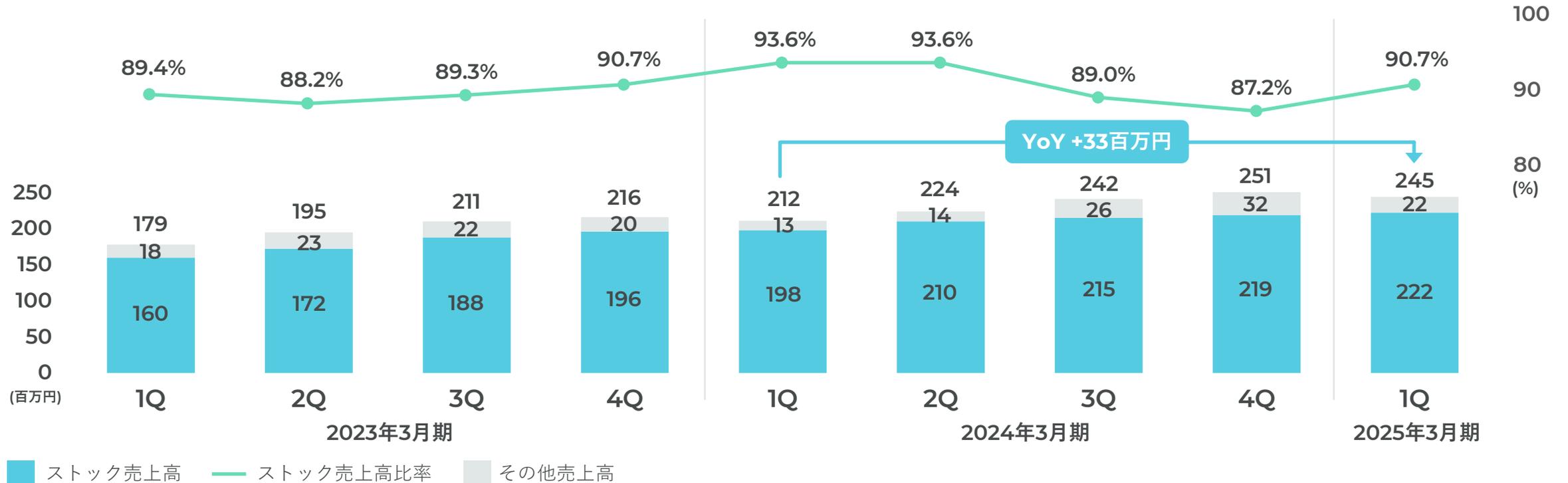
- 人的資本開示の需要を受け、エンタープライズ企業※の獲得に経営資源を集中。結果として、売上高は245百万円と前年同期比33百万円増となりました。
- 進捗率は23.2%ですが、売上計画が下期偏重であり期末に向けて進捗率は増加する見込みです。
- 人件費の圧縮と顧客獲得コストの低減が進み、営業利益は前年同期比で107百万円増加と大幅に改善しました。

(百万円)	24年3月期 1Q (A)	25年3月期 1Q (B)	対 前年同期 (B-A)	25年3月期 業績予想 (C)	進捗率 (B÷C) %
売上高	212	245	+33	1,056	23.2%
営業利益	▲198	▲90	+107	▲146	-
経常利益	▲200	▲88	+111	▲138	-
四半期純利益	▲200	▲88	+111	▲143	-

※エンタープライズ企業とは、従業員500名以上と定義しております。

Unipos事業売上高推移（3ヶ月実績）

- 当第1四半期のストック売上高比率は90.7%、売上高は前年同期比で33百万円増加しました。
- 前年同期比でストック売上高比率は低下するも、ストック売上高は過去最高であり、エンタープライズ企業向けの人的資本経営コンサルティング等のその他売上が顕在化したことで売上高全体はクロスセルにより伸長しております。

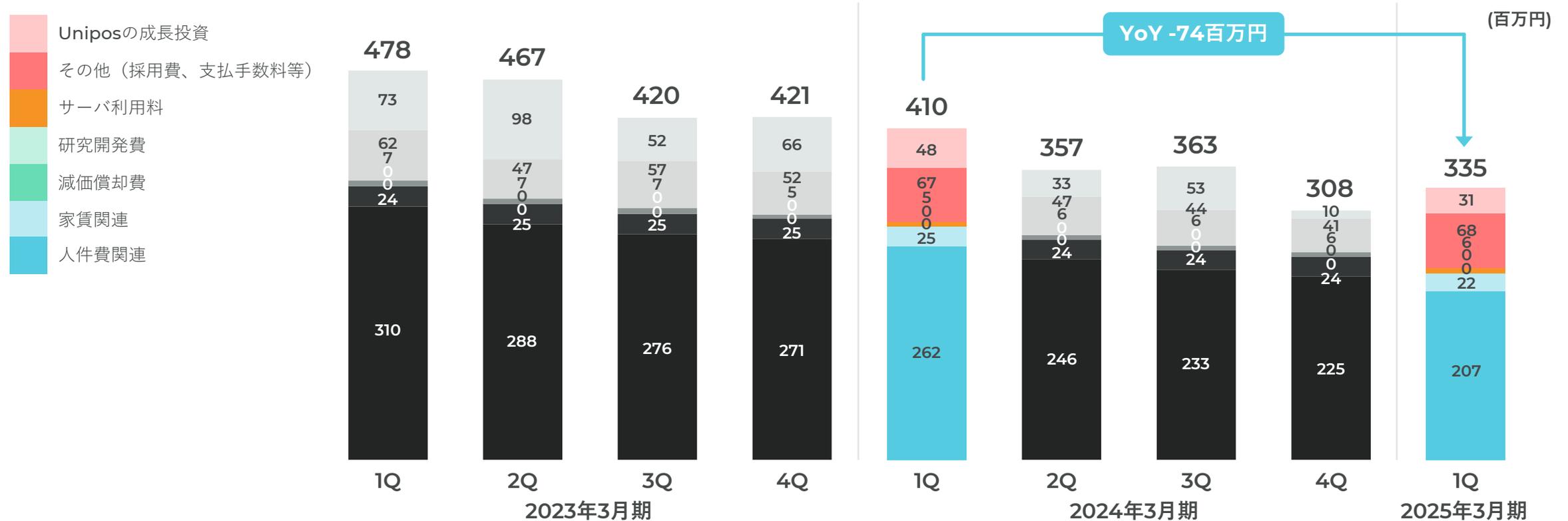


ストック売上高：継続課金対象となる月額料金 その他売上高：初期費用、コンサルティング等の一時的な料金

※売上高の数値を、管理会計ベースの数値から財務会計ベースの数値に変更しております。※ストック売上高比率の計算方法を、百万円単位から円単位の除算に変更しております。

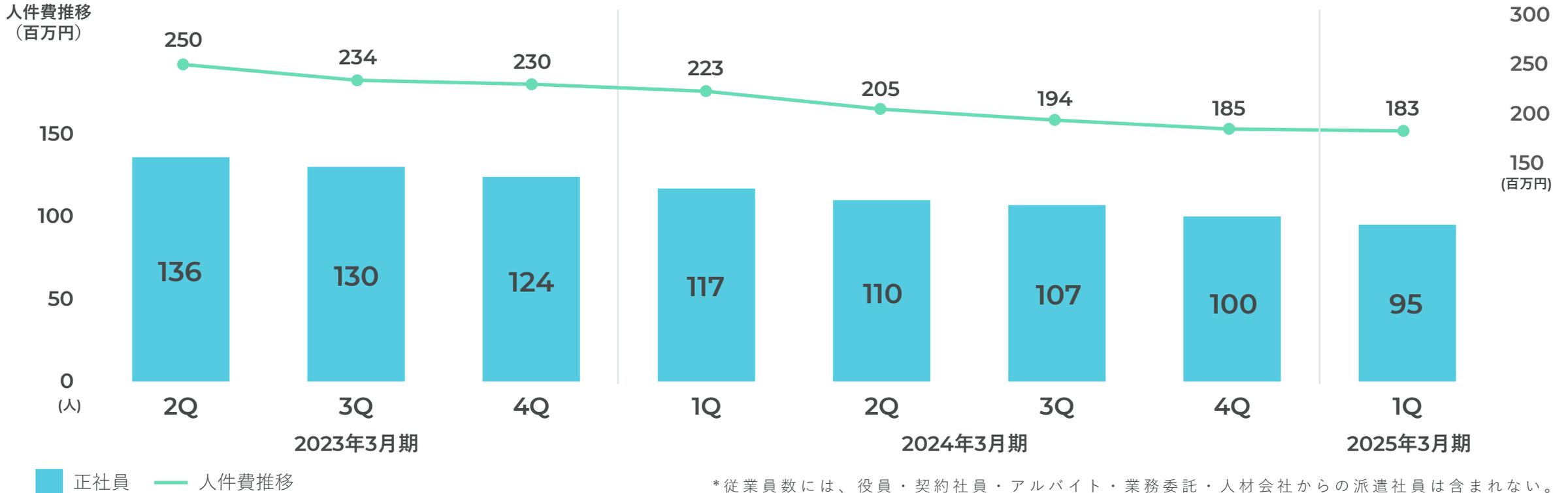
原価・販管費推移（3ヶ月実績）

- 当第1四半期は、Uniposの成長投資（主に広告宣伝費）を集中して投下しましたが、前年同期比に対して74百万円減と全体的にコストの圧縮が進みました。
- 第2四半期以降も更なるコストの圧縮を図りながら、第3四半期にも効率性を重視しつつUniposの成長投資を集中的に実施する予定です。



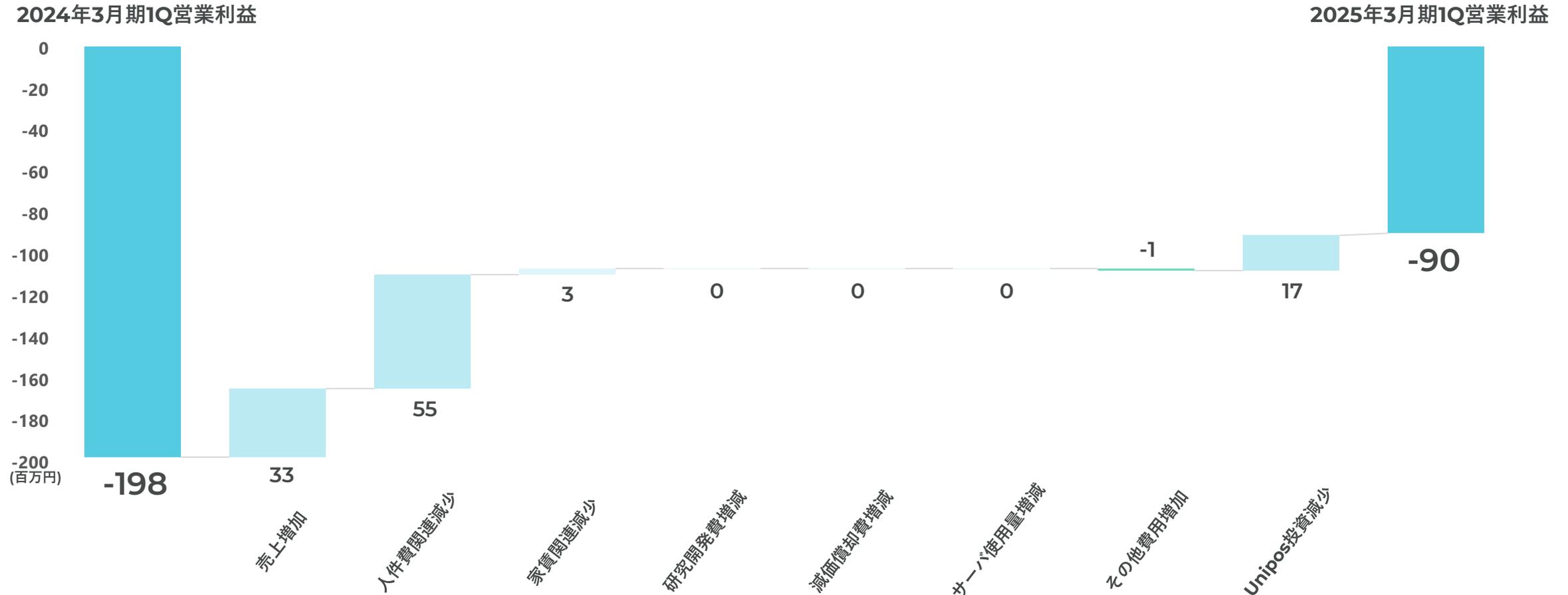
人件費・従業員数の推移

- 事業の構造改革、組織体制の見直しに伴い、今期においても人件費の圧縮が進み、対前年同期比で**39百万円減の183百万円（18%減）**で着地。
- 同時に事業活動・開発体制の生産性向上を高めるため、教育投資・AI投資やプロセスの見直しによる業務効率化に注力。今後も生産性向上を進めてまいります。



営業利益増減要因

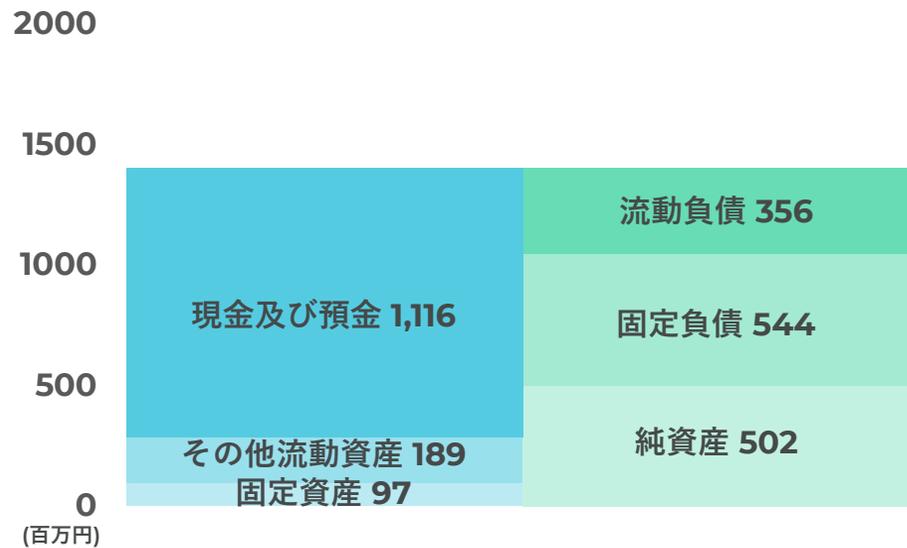
- 売上高が前年同期比で33百万円増加し、さらには人件費などのコストの圧縮が進んだ形となり、当第1四半期営業利益は対前期で+107百万円の▲90百万円で着地しました。



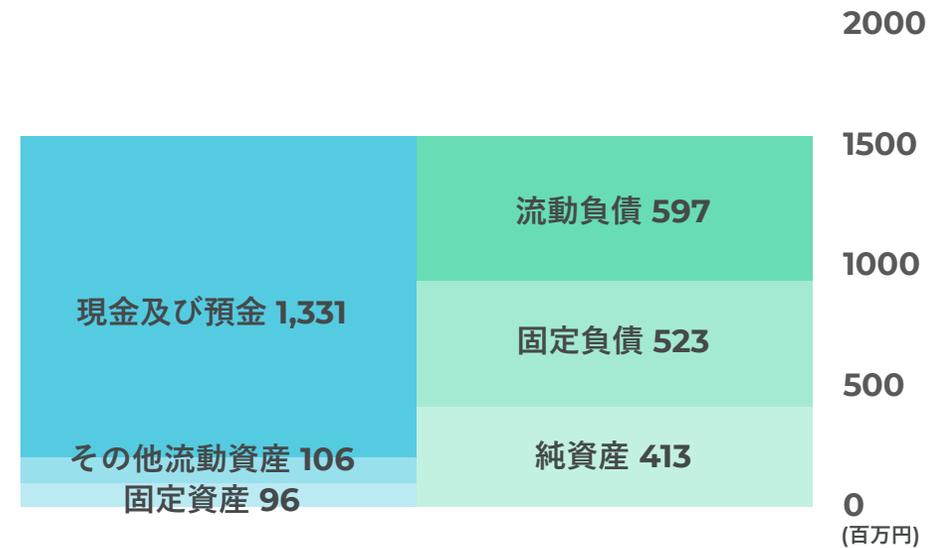
バランスシートの状況

- キャッシュマネジメントの精緻化により、依然として十分なバランスを保持しております。
- 2024年3月期下期より、契約期間における利用料を一括で受領する前受金型の契約形態に移行しており、それにより流動資産の現金及び預金と、流動負債の前受金がそれぞれ増加しております。
- 今後も高いキャッシュ比率を維持しつつ費用対効果の高い成長投資やサービス開発を進めてまいります。

2024年3月期 第4四半期



2025年3月期 第1四半期



■ 固定資産 ■ その他流動資産 ■ 現金及び預金 ■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債

今後の成長戦略

- 黒字化に向け、引き続き費用対効果の高い施策に絞ったマーケティング投資の実行や機能・サポート体制の拡充を通し、「CAC（顧客獲得コスト）の最適化」と「LTV（顧客生涯価値）の向上」を進めます。
- カルチャー改革と人的資本領域において、知見や情報の発信→プロダクト / サービス拡充による顧客満足度の向上→顧客への価値提供の形式知化のサイクルを回す事により実現します。



具体的なマーケティング活動

人的資本関連 / カルチャー変革のオピニオンリーダーとして広報露出を強化し、プッシュ型の広告宣伝費を抑制、受注率を高める施策に資源を継続的に投下しております。

人的資本経営・カルチャー変革のオピニオン発信

- 日経への掲載等マスパブリシティの広報活動は引き続き強化
- 人的資本における顧客内の議論を助けるフレームワークを提案するなど顧客支援内容をコンテンツ強化



オウンドメディアの展開

<https://unite.unipos.co.jp/>

「組織風土改革を知り、学び、活かす」ことができるオウンドビジネスメディア『UNITE』を随時更新し、業界のオピニオンリーダーや自社のメソッドを展開



大規模なイベントへの登壇や自社開催

- 日本最大級のHRサービスの展示会「HR EXPO」への出展
- 産官学連携「カルチャー変革決起会」の開催 ※7月開催



会社概要

会社名	Unipos株式会社
所在地	東京都渋谷区神宮前5-52-2 青山オーバルビル 7F
市場情報	東京証券取引所 グロース市場 (6550) 2017年6月27日上場
許認可	認証基準 : ISO / IEC 27001:2022 / JIS Q 27001:2023 認証登録番号 : IS 695197



Unipos株式会社 代表取締役社長CEO 田中弦 著

「心理的安全性を高める リーダーの声かけベスト100」

全国の書店・オンラインストアで販売中

受賞実績



日本の人事部「HRアワード2018」優秀賞
(組織変革・開発部門)



Work Story Award 2018
グループ審査員特別賞



Work Story Award 2018 テーマ部門賞
(働きがい、モチベーション、エンゲージメント)



J-Startup

経済産業省「J-Startup」
プログラム特待生に選出



BOXIL SaaS AWARD 2021 Autumn
人事・給与部門
「ピアボーナス@」カテゴリ No.1サービス



【本資料の取扱いについて】

本資料には、Unipos株式会社に関連する見通し、将来に関する計画などが記載されています。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおり、様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。なお、今後、新しい情報、将来の出来事等があった場合であっても、本資料に含まれる将来に関するいかなる記載をも更新、変更する義務を負うものではありません。